

岐阜づくし給食"どうぞ"



藍川北中学校の生徒たちと一緒に「いただきます」と手を合わせる住民ら＝岐阜市加野、藍川小学校

藍川北中生が考案、地域住民に振る舞う

岐阜市芥見の藍川北中学校の2年生がメニューを考えた給食を地域の人たちと味わう取り組みが、同市加野の藍川小学校で開かれた。JA全農岐阜の協力で有機栽培の農産物を取り入れたキーマカレーやサトイモチップスなどを提供し、交流を深めた。(山田俊介)

同小で定期的に実施している、給食を地域住民が味わえる「学校レストラン あいかわDEらんち」の一環。今回は、県教育委員会が開く「中学生学校給食選手権」に応募した生徒たちが考えた県産有機野菜を使ったメニューを、学校運営協議会の役員やクラブ活動のメンバーら地元住民など約30人が味わった。メニューは、関市洞戸地区で採れたキウイフルーツを隠

キウイ隠し味のキーマカレーやサトイモチップス



生徒たちがメニューを考えた給食。ランチョンマットもデザインした＝同

し味に入れたキーマカレーのほか、サトイモやレンコンのチップス、ダイコンを使った寒天サラダ、麦ご飯。小中一貫校として4月に義務教育学校「藍川北学園」になる両校で提供された。生徒たちはこれまでに、県産の農産物を使った「ふるさと岐阜の給食」を考える課題に取り組み、野菜嫌いの児童にも食べやすいよう工夫してきた。生徒たちが集まった住民に給食を配膳し、メニューを解説したり、こだわったポイントを説明したりした。そろって「いただきます」と手を合わせ、笑顔で食べていた。